

高校地理プリント (過去問類似)

資源と産業 No.3

名前

得点

/10

問1 近年の世界的な経済発展に伴い、肉類の消費量が増加した。これに伴って、家畜の飼料としての需要が世界的に急増し、近年ではバイオ燃料の原料としても利用されている、米や小麦と並ぶ世界三大穀物の一つは何か。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. アマランサス 2. トウモロコシ 3. デントコーン 4. インゲンマメ

問2 ヨーロッパの農業地域区分において、高緯度で冷涼な気候や、かつての大陸氷河の移動によって表土が削られたやせた土地が広がる北欧諸国などで、穀物栽培の代わりに牧草を栽培して乳牛を飼育し、乳製品を生産する農業種別を何というか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 放牧 2. 遊牧 3. 移牧 4. 酪農

問3 マレー半島の南端に位置するこの国は、優れたインフラや優遇税制などを背景に、多国籍企業のアジアにおける中枢管理機能や金融機能が高度に集積している。アジア有数の金融・流通のハブ国家として高い経済水準を維持しているこの国はどこか。 (2015年 全国公立入試 類似)

1. インドネシア 2. シンガポール 3. フィリピン 4. マレーシア

問4 製品が軽量で高付加価値であるため輸送費の負担力が大きく、空気や水が清澄で高速道路網へのアクセスが良い内陸部に発達しやすい、時計やカメラなどを製造する日本の工業部門は何か。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. 一般機械工業 2. 輸送機械工業 3. 電気機械工業 4. 精密機械工業

問5 アジア諸国の農業の特徴について述べた文の空欄【イ】に当てはまる語句として最も適当なものを答えよ。「東アジアの国々では、化学肥料や農薬の多用、農業技術の進歩、そして集約的な土地利用により、収穫面積1ヘクタールあたりの穀物収量が非常に高くなっている。このような特徴を反映し、東アジア諸国で特に高い数値を示す指標は【イ】である。」 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 農業の土地生産性 2. 穀物の土地生産性 3. 穀物の労働生産性 4. 農業の労働生産性

問6 大都市圏において、都心部を目的地としない通過交通の流入を抑制し、渋滞を緩和するために、都市の外縁部を円状に結ぶように整備される高速道路などの道路網を何というか。近年、そのインターチェンジ周辺などの沿線地域では、地価の安さや交通利便性の高さを活かして、大規模な物流施設の立地が進んでいる。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. 放射道路 2. 環状道路 3. 高速道路 4. 幹線道路

問7 寒冷な気候や酸性の痩せた土壌に対する耐性が強く、主にドイツやポーランド、ロシアといったヨーロッパ北部から東部にかけての地域で生産・供給が盛んな、黒パンの原料などにも用いられる穀物は何か。 (2020年 全国公立入試 類似)

1. ライ麦 2. 小麦 3. 大麦 4. 燕麦

問8 1970年代末から「改革・開放」政策を推進した結果、1970年に約80%に達していた第1次産業の就業者割合が、2000年には約50%へと急激に低下し、急速な工業化と近代化を遂げた東アジアの国はどこか。 (2013年 全国公立入試 類似)

1. 大韓民国 2. 中華人民共和国 3. 中華民国 4. 朝鮮民主主義人民共和国

問9 南アメリカ南部に位置するアルゼンチンの東部に広がる広大な温帯草原で、伝統的に小麦やトウモロコシの栽培、肉牛の放牧が盛んであったが、近年は大豆栽培の拡大など農業構造の変化が見られる地域を何というか。 (2012年 全国公立入試 類似)

1. パンパ 2. リャノ 3. セルバ 4. カンポ

問10 九州地方の佐賀平野などの低湿地帯において、農業用の貯水や給排水、生活水の確保、洪水の防止などを目的として、網の目状に張り巡らされた水路を何と呼ぶか。 (2011年 全国公立入試 類似)

1. ワジュウ 2. クリーク 3. ホリワリ 4. タメイケ

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 2 トウモロコシ	経済成長に伴う食生活の変化（肉類消費の増加）は、家畜を育てるための飼料用穀物の需要を爆発的に増加させた。その代表例がトウモロコシであり、アメリカ合衆国のコーンベルトなどで大規模に栽培され、世界中に輸出されている。また、近年はバイオエタノールの原料としての需要も高まっている。
問2	答え 4 酪農	北欧諸国は高緯度に位置するため冷涼で日照時間が短く、また氷河期に大陸氷河によって肥沃な表土が削り取られたため、砂礫質のやせた土地が広がっている。このような厳しい自然環境では主食となる穀物の栽培が困難であるため、寒冷な気候に強い牧草を栽培し、乳牛を飼育して生乳やバター、チーズなどの乳製品を生産する酪農が発達した。
問3	答え 2 シンガポール	マレー半島の南端に位置し、優れたインフラや優遇税制を背景に、多国籍企業の中核管理機能や金融機能を集積させている。中継貿易港としての歴史的背景を持ち、現在ではアジアにおける主要な金融・流通のハブ国家として高い経済水準を維持している。
問4	答え 4 精密機械工業	製品が軽量で高付加価値であるため、輸送費の占める割合が低く、空港や高速道路に近い内陸部に立地しやすい特徴を持つ。また、製造過程で塵や埃を嫌うため、空気や水が清澄な環境が好まれる。日本では中央高地（長野県や山梨県）や東北地方の内陸部などで発達している。
問5	答え 2 穀物の土地生産性	東アジア（日本や中国など）では、限られた土地を高度に利用する集約的農業が行われており、化学肥料の投入や品種改良などの技術革新によって、単位面積あたりの穀物収量が高くなっています。この収穫面積あたりの収量を示す指標が「穀物の土地生産性」です。インドなどで高い「耕地率」や、南アジア・東南アジアの一部で高い「農業就業人口率」とは区別されます。
問6	答え 2 環状道路	大都市圏における道路整備では、都心に集中する交通を分散させるため、都市を囲むように円状に走る道路（環状道路）の建設が進められてきた。この道路の整備により、都心を通過するだけの交通が迂回できるようになり、渋滞が緩和される。また、高速道路のインターチェンジ周辺などの沿線地域（郊外）は、地価が比較的安く、広範囲へのアクセスが容易であるため、近年、大型のトラックが行き交う物流施設の集積地となっている。
問7	答え 1 ライ麦	ライ麦は、小麦に比べて寒冷な気候や酸性の痩せた土壌（ポドソルなど）に適応しやすいため、ヨーロッパ北部や東部（ドイツ、ポーランド、ロシアなど）で広く栽培・供給されている。主に黒パンの原料やウイスキーの原料、家畜の飼料として利用される。
問8	答え 2 中華人民共和国	1978年以降に市場経済化を進める改革・開放政策を導入した。これにより、それまで就業者の大半を占めていた農業（第1次産業）から、都市部の工業（第2次産業）やサービス業（第3次産業）への労働力移動が急速に進み、産業構造が劇的に変化した。
問9	答え 1 パンパ	アルゼンチン東部に広がる温帯草原であるパンパは、年降水量約550mmの等雨量を境に、西部の乾燥パンパ（牧畜地域）と東部の湿潤パンパ（混合農業・小麦地帯）に大別される。伝統的に小麦やトウモロコシ、肉類の輸出で知られていたが、近年は遺伝子組み換え作物の導入などにより大豆栽培が急速に拡大し、植物性油かすなどの輸出比率が高まっている。
問10	答え 2 クリーク	佐賀平野などの低湿地帯では、生活用水や農業用水を確保し、また洪水を防ぐために、網の目状に水路が巡らされてきた。これらは主に水田稲作のための農業用貯水・灌漑・排水路として重要な役割を果たしてきた。近年は土地改良事業などにより整理・統合が進んでいる。